

心に残った「制度を支えるのは人であり、連帯の意識である」というメッセージ

歯科医師 伊塩本仁美

伊原先生へ

このたびは、日本の社会保障制度の現状と今後の課題について、大変貴重なご講義をありがとうございました。

先生がご自身の40年にわたるご経験をもとに、厚生労働行政の実際をお話くださったことで、制度の裏にある現場の努力や思いを、より具体的に感じ取ることができました。

また、高齢化や少子化などの人口構造の変化が社会保障制度に及ぼす影響について、データとともに丁寧にご説明いただいたことで、これからの医療や介護のあり方について、改めて考えるきっかけになりました。高齢者の就労状況や健康状態の改善といったポジティブな変化についても、バランスの取れた視点でお話しいただけたのが印象的でした。

さらに、介護現場でのICTやロボット活用の実践例を伺い、現場の工夫や前向きな取り組みが、生産性向上だけでなく、働く方の待遇改善にもつながっていることを知ることができました。技術の導入にはまだ課題も多いとは思いますが、可能性の広がりを感じるお話でした。

講義を通じて、「制度を支えるのは人であり、連帯の意識である」という先生のメッセージが心に残っています。社会保障について、制度の仕組みだけでなく、それを支える社会の空気や価値観についても、もっと多くの人と共有していくことが大切だと感じました。

今後も、今回学んだことをもとに、日々の実践や学びに活かしてまいりたいと思います。お忙しい中、貴重なご講義を本当にありがとうございました。